

【一葉の魅力③恒例の夏祭りで毎年、地域をPR 学生サークル「第一薬科大学 地域盛り上げ隊」をご紹介します】

2025/9/2公開



第一薬科大学には地域に密着した「第一薬科大学 地域盛り上げ隊」という名称のサークルがあります。毎年、大学の最寄り駅である西鉄高宮駅周辺の各店舗で組織する「高宮商店街振興組合」主催の夏祭りに参加し、地域のPRに努めています。

2023年、「集団になることで学生の意欲も高まり、活動の幅も広がるのでは？」という本学副学長・吉武毅人教授の提案をもとに、それまでは個別にボランティア活動を行っていた看護学部 of 学生らが集まり、12人で結成。今年度からは薬学部の学生も募り、現在は看護学部の学生48人、薬学部の学生2人の計50人になり、当初の約5倍にメンバーが増えています。

8月30日には高宮駅西口広場で行われた夏祭りと JR 博多駅前広場での募金活動に参加しました。このうち夏祭りでは「高宮地区の子どもたちの夏の思い出づくり」をテーマに、スーパーボールすくいや輪投げを用意。毎年人気の祭りだそう、次々に家族連れが訪れて学生らは大忙しでしたが、笑顔で接していました。

副代表の看護学部2年、村田菜々子さんは「楽しんでもらえたようで、うれしかったです。コミュニケーションを取るこうした経験は将来、看護師になった際、患者さんたちと関わる中で活かせるのではないかと思います」と話していました。

